

視察報告



議会運営委員会

平成 30 年 7 月 30 日～ 31 日
長野県飯田市、愛知県知立市
「議会運営と議会改革の取り組み」



▲議会における行政評価について学びました（飯田市）

飯田市では、主に議会における「行政評価について」と「政策提言について」をテーマに視察を行いました。飯田市議会では、市の施策が目的達成のために効率的に実施されているかをチェックするため、行政評価を導入しています。まず、評価対象事業を抽出し、市当局から提示されたデータと資料をもとに、常任委員会において集中的に協議を行い、その結果は、提言書として決算の認定に活用されていました。

知立市では、主に「議会改革の取り組みについて」視察しました。知立市議会では、議会改革特別委員会

を全会一致で設置した後、議会報告会の開催などを経て、平成 25 年に知立市議会基本条例を制定しました。この条例には、「市民に開かれた議会」「議員が議論する議会」「議員が行動する議会」の 3 本柱の実現に向けた議会運営の理念が定められています。これらを具体化するための制度の一つとして、政策討論会を開催し、政策立案・政策提言の強化を図っていました。

こうした他市の事例を参考に、本市議会においても検討を重ね、さらなる議会改革と、よりよい議会運営に取り組んでいきます。

平成 30 年 10 月 29 日～ 31 日
岐阜県大垣市 「街頭防犯カメラの活用」
京都府京丹波町 「道の駅整備事業」
兵庫県加古川市 「災害に係る情報発信」

総務委員会

大垣市では、街頭防犯カメラが犯罪の解決や抑止につながるなど効果が期待できるとの認識から平成 25 年 10 月に「防犯カメラの設置・運用に関するガイドライン」を制定し、平成 27 年 4 月から自治会等に対して補助金を交付しています。地域特性を勘案しながら公共空間への設置を促すことで、幾重の防犯対策の一つとして取り組まれていました。

京丹波町では、合併前の旧町ごとに 3 つの道の駅があり、視察した「京丹波 味夢の里」は町としては 4 つ目の道の駅でした。高速道路ネットワークの構築で町内観光入り込み客

数が年間 450 万人と恵まれた地域で、民間業者の蓄積された維持管理・運営ノウハウのもと（ＤＢＯ方式）、地域振興を主眼とした施設運営が図られていました。

加古川市では、災害時において、地域特性に応じてエリアを限定した情報伝達が必要であることから、総務省と協力して「災害情報伝達等の高度化事業」を実施し、スマートフォンに情報を伝えるアプリの開発や V－A L E R T を利用した情報伝達で一定の成果を上げていました。

いずれも本市として、とても参考になる事例でした。



▲道の駅整備事業について視察しました（京丹波町）